

【令和8年2月19日 幹部予定者課程入校式 祝辞】

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校大講堂において、第百三十八期 幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に御入校の皆様、本日は誠におめでとうございます。

皆様は、これまで各部隊の最前線で多くの経験を積み重ね、そのキャリアと高い能力を認められ、指揮官となるべく、晴れて幹部予定者課程に入校されました。そのような皆様をお迎えできることは、江田島市として大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

さて、昨今の国際情勢を見渡すと、ウクライナをはじめ世界各地で安全保障上の課題が山積しており、国際社会全体の安定化が求められています。また、北極圏などの新たな戦略的競争領域でも大国間の緊張は高まっており、地球規模での安全保障上の課題が一層顕在化しています。

こうした中、我が国の防衛も決して他人事ではなく、国防や国際平和協力活動を担う自衛隊の皆様に対する期待は、より一層高まっております。

皆様におかれましては、ここ江田島で、幹部自衛官として、自衛官の心構えを改めて身につけ、各部隊で学びを生かし、国民の負託に応えていただくことを期待しております。

皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、今から百三十八年前の明治二十一年、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし現在に至る七十年間、共存共栄一体不可分の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

また、美しい自然に囲まれ、秀峰古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として親しまれています。

厳しい訓練の合間には、恵まれた自然や豊かな人情に触れ合いながら、島の魅力を存分に楽しみ、江田島市との「縁」を紡ぎ「絆」を深めながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

そして、江田島市での学生生活が、皆様にとって実りある、充実したものになることを、強く願っております。

結びに、日本国の繁栄、海上自衛隊の今後益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和八年二月十九日

江田島市長 土手 三生